Lemnos

取扱説明書番号
640056-5

室内用

電波時計 取扱説明書

【電波受信機能 ON・OFF 付き / 夜間秒針停止機能付き】

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

※この製品は日本国内用のため、海外での使用には適しておりません。

製造 発売元 **株式会社タカタレムノス**
〒933-0957 富山県高岡市早川511

お客様相談窓口 **TEL:0766-24-5731**（平日 10:00〜17:00）
https://www.lemnos.jp

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために、はじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠ は、**禁止**（してはいけないこと）を示しています。
❗ は、指示する行為を**必ず守る**ことを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

禁止 **幼児の手の届く所に設置、保管しない。**
電池の誤飲や壁掛け用木ネジにより、怪我をする恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止
- **電池をショートさせない。**
- **電池を分解しない。**
- **電池に傷をつけない。**
- **電池を充電しない。**
- **電池を加熱しない。**
- **電池を火の中に入れない。**

電池の液漏れや発熱、破裂の原因になります。

禁止 **電池から漏れた液に触れない。**
- 失明や炎症などの障害が発生する恐れがあります。目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 液漏れしたときは、素手で触らずゴム手袋をして電池を外してください。漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

禁止 **梱包用のポリ袋類を被らない。**
窒息する恐れがあります。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

禁止 **製品についているネジを触らない。**
一度ネジを緩めてしまうと、もう一度止め直したとしても勘合（ｶﾝｺﾞｳ：軸と穴のはまり具合）の固定強度が落ちてしまいます。そのため時計を掛けた際に、ネジが緩くなったことが原因で部品が外れて製品が落下し、怪我をしたり、床面が傷つく恐れがあります。（ネジ開閉式の電池蓋を除く）

禁止 **電池の⊕⊖を逆向きに入れない。**
電池の液漏れや発熱、機械の故障、怪我の原因になります。

必ず守る **時計を使わないときは、電池を取り出す。**
- 絶縁してない状態で電池を入れたままにすると、電池が液漏れを起こす恐れがあります。
- 保管する際は火災防止のため、セロハンテープなどを電極の両面に貼り、絶縁してください。

必ず守る **電池の液漏れや破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**
- 時計が止まったときは、新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

禁止 **強い振動や落下など衝撃を与えない。**
故障や破損の原因になります。

禁止 **ぬれた手で触らない。**
さびや故障の原因になります。

分解禁止 **分解や改造をしない。**
怪我や故障の原因になります。

禁止 **時計を掛ける際は、壁掛け部(金具または穴)以外に掛けないでください。**
時計の落下により、物品の損傷や怪我の原因になります。

必ず守る
- **壁の材質・構造と時計の質量に合った掛け具をご使用ください。**
- **時計を掛けたときは、時計を上下、左右、手前に軽く動かして、壁掛け部に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。**
- **垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。**
- **ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。**
- **市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。**

掛け方が不適切な場合、時計が落下する恐れがあります。

禁止 **下記のような場所では使わない。**
性能の低下や部材の変形、変質、劣化、故障の原因になります。
- 温度が+50℃以上の所。長時間直射日光があたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 冷暖房器具の送風が直接あたる所。
- 温度が−10℃以下の所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起こることがあります。）
- 浴室やサウナ、岩盤浴、温室など、高温・高湿になる所。（さびや故障の原因になります。）
- ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオの側など強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場などの多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れる所。（色移りや付着、変質をすることがあります。）
- 非常に乾燥した状態や多湿な状態が長く続く所。
- 屋外。

お手入れについて

誤った方法でお手入れをすると表面の色艶が変化したり、色落ちしたり、傷がつく恐れがあります。次のことをお守りください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。
- 汚れを落とすときは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが落ちにくいときは、水分をしっかり切った柔らかい布で拭き取ってください。その後に水分が残らないように乾いた布で、よく拭き取ってください。

禁止 **表面を強くこすらない。**

禁止 **漂白剤や洗剤、化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、各種ブラシを使用しないでください。また殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。**

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池は火災防止のため、セロハンテープなどを電極の両面に貼り、絶縁してください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。

標準電波とは

標準電波（JJY）は日本標準時（JST）の時刻情報をのせており、国立研究開発法人である情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報は「セシウム原子時計」により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。
標準電波の送信所は国内2ヵ所にあり、ほぼ日本全国をカバーしております。

・福島局：福島県大鷹鳥谷山（おおたかどややま）送信所（40kHz）
・九州局：佐賀県羽金山（はがねやま）送信所（60kHz）

標準電波の送信停止について

標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されてますが、送信所の定期点検や落雷などの影響により、一時的に標準電波の送信が停止することがあります。
標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jjy.nict.go.jp) ※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1000〜1200kmです。受信しやすい電波を自動的に選択して受信します。ただし受信範囲であっても、地域・地形・建物・天候・時間帯（昼/夜）・設置場所などにより、受信できないことがあります。ご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。**ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波を受信しにくい環境

以下のような条件では、電波が遮断されたり、ノイズ（電磁雑音）が発生したりして、電波受信ができない場合や誤った時刻を表示することがあります。このような場所を避けてご使用ください。

- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
  （ただし、窓際は比較的受信しやすくなります）
- 山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
- 高圧線、ラジオやテレビの送信所、電車の架橋の近く
- 自動車、電車、飛行機などの中
  （特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
  電波障害の起きる場所
- 家電機器（テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機など）、強い磁気が発生する通信機器（パソコン、ファックス、電話など）、照明器具（蛍光灯など）の近く
- 金属面（床や壁、家具）に接して設置した場合、金属製の雨戸やブラインドの近く

この他に、雷や大気の状態などの天候・気象条件によって電波障害が起きるときは、受信機能が制限されて使用できない場合があります。このような場合には、深夜の時間帯や使用する場所を受信条件の良い場所に移動すれば通常の機能に戻り、自動修正機能が働くようになります。

製品仕様

製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

使用環境温湿度	0〜40℃、85%RH以下　＊結露しないこと
時間精度	[標準電波受信成功直後の表示精度]秒針 ±1秒以内 [標準電波を受信しない場合]平均月差±30秒以内（温度が5〜35℃で使用した場合）
電源	単3形マンガン乾電池 R6P（1.5V）、または単3形アルカリ乾電池 LR6（1.5V）
電池寿命	約7〜9ヶ月（受信修正機能の稼働状況によっては、電池の消耗が早まります）
電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正 受信局：福島局 / 九州局 を自動選択 自動受信回数：1日に最大4回受信（午前3:00、4:00、5:00、6:00） ※一度受信に成功すると次回の受信は行いません 受信ON/OFF：スイッチでON/OFF切り替え、工場出荷時ON
夜間秒針停止機能	22時〜6時（秒針は0時の位置に停止）
手動時刻合わせ	ボタン操作で可能

※付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
※サマータイム導入時には、自動的に時刻を修正します。

時計の使い方

⚠警告

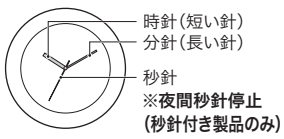
幼児の手の届く所に設置、保管しない。
禁止
電池の誤飲や壁掛け用木ネジにより、怪我をする恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

電池の⊕⊖を逆向きに入れない。
禁止
電池の液漏れや発熱、機械の故障、怪我の原因になります。

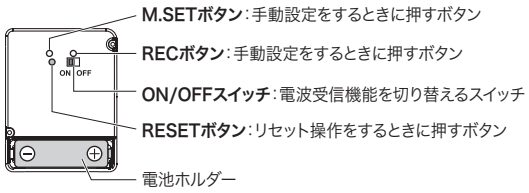
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

（正面）



針の動き…通常の時刻表示
時針・分針：10秒に1回動く
秒針：1秒スイープ
※自動受信により、時刻を修正するときは早回りで移動することがあります。

（裏面操作部）



※電波時計の滑らかに動くスイープ秒針であるのに、10秒ごとにコチコチ音が発生しますが故障ではありません。電波時計は「秒針を動かすモーター」と「時分針を動かすモーター」を持っているため、時分針を10秒に1回ずつ送るときの音が、秒針の音に比べて大きく聞こえる場合があります。

窓際など、電波の受信しやすい所でお使いください。

①電池を入れる（電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせる）

※**電池は電池ホルダーの奥までしっかり装着してください。**また電池を取り出すときは⊕側から先に外してください。（電池が外れにくいときは ⚠注意　電池の交換について をご参照ください）

※⊕⊖を逆に入れると、時計は動きません。蓋は操作終了後に元に戻してください。

②針が動き出す

針が早回りで動き出し、12時の位置で全ての針が停止します。（電波受信状態）
秒針の無い時計は、60秒以内に針が動き始めます。

※受信待機中、針が止まったままになりますが故障ではありません。
※針の静止位置が多少前後にぶれる場合がありますが故障ではありません。

③受信待機の結果が出るまで、そのまま待つ（通常10～15分）

電波受信すると針が早回りで動き出し、正確な時刻を指します。

※受信環境によって、受信までの時間は異なります。
※受信待機中はボタン類を操作しないでください。誤作動の原因となります。

④電波受信できなかった場合

電波受信待機状態（12時停止）から16分間で受信できなかった場合、針はその位置（12時）から運針を始めます。

※場所を変えて、以下の方法をお試しください。
電波受信しやすい場所：窓際、周辺に電化製品の無い所

（1）リセット操作を行う

以下のような場合に**RESETボタン**を押してください。設定されている内容が初期状態に戻ります。（電池を入れたときと同様に針が早回りで動き出し、12時位置で停止して、電波受信待機状態になります。）

- 操作中に不明な点が出てきた場合
  現時刻で作動していた時計に異常な症状（時間の狂いや停止など）が確認された場合

（2）一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的、電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。
（1日4回の自動受信で受信に成功すれば、現時刻に修正します。）

（3）手動で時刻を合わせる

A. 針が運針中に操作する場合

[1]**M.SETボタン**を約3秒押すと、分針が1分進み停止します。
（秒針は12時位置まで進んで停止します。）

[2]一旦ボタンを離して、再度**M.SETボタン**を押すと、分針が1分進みます。
（押している間、針は動き続けますので、現時刻の少し手前でボタンを離してください。）

[3]以降、一回押すごとに1分進みます。

[4]現時刻に合わせたら、**RECボタン**を1回押して操作終了となります。

[5]全ての針が動き出します。（[4]で**RECボタン**や**M.SETボタン**を押さなかった場合は8秒後に手動時刻調整は自動的に終了し、針は動き出します）

B. 針が停止中に操作をする場合

上記[2]からの操作になります。

⑤静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**RESETボタン**を押して、再受信してください。

電波受信機能をOFF（無効）にする場合

本製品は、工場出荷時に電波受信機能が ON に設定されています。

本製品を誤作動が生じやすい場所で使用する場合や、意図的に時間をずらして使用する場合には、電波を受信しないようにすることができます。

※電波を受信しないときの時間精度は、平均月差±30秒以内（常温での使用時）となります。

<ご使用例>

設置場所にて頻繁に時間の狂いや、時計停止など誤作動が発生した場合 →
- 一旦、受信環境の良い場所で電波を受信させ、現時刻となった後に、スイッチを OFF にして元の設置場所に戻します。
- またはスイッチを OFF にした後、手動操作で時間を合わせてください。（時分針のみ）

意図的に時間をずらして使用する場合 → 現時刻で作動中に時計のスイッチを OFF にした後、手動操作で時間を合わせてください。（時分針のみ）

時計の掛け方（掛時計の場合）

⚠注意

時計を掛ける際は、壁掛け部(金具または穴)以外に掛けないでください。
禁止
時計の落下により、物品の損傷や怪我の原因になります。

必ず守る

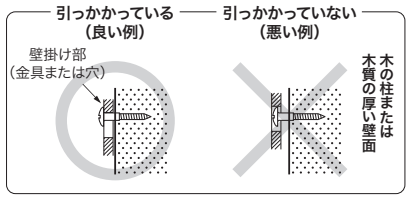
- **壁の材質・構造と時計の質量に合った掛け具をご使用ください。**
- **時計を掛けたときは、時計を上下、左右、手前に軽く動かして、壁掛け部に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。**
- **垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。**
- **ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。**
- **市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。**

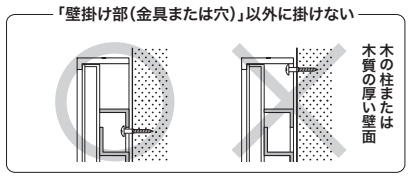
掛け方が不適切な場合、時計が落下する恐れがあります。

木の柱や木質の厚い壁面に掛ける場合

付属の壁掛け用木ネジは、木の柱または木質の厚い壁面用です。

壁掛け用木ネジを垂直に、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。隙間が大きく不安定な場合は、ネジをさらにねじ込んで調節してください。





その他の壁面に掛ける場合

石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の質量に合った、市販の掛け具をご使用ください。

その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

⚠注意　電池の交換について

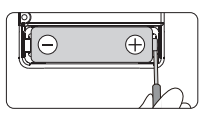
必ず守る **電池の液漏れや破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**
- 時計が止まったときは、新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

■ 電池の種類について
- 一般に充電式の電池は電圧が低い（1.2V）ので、本製品には使用しないでください。
- アルカリ乾電池はマンガン乾電池より電池寿命が長くなります。

■ 電池の寿命について
- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

■ 電池が外れにくいときには

電池⊕側の凸部の下に、細いマイナスドライバーなどを差し込み、怪我をしないように少しずつ力を加えながら持ち上げてください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。

1、電波の送信情報をご確認ください。

標準電波は機器の点検や落雷等により、一時的に送信を中断される場合があります。
標準電波の停止に関する情報は情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

2、電池をご確認ください。
- 新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえ、ご使用ください。
- 電池交換の際は電池を外した後、**5分経ってから**新たな電池を入れてください。連続の電池交換は、誤作動及びムーブメント破損の原因となる場合があります。

症状	原因	処置
秒針の進みが遅い、または上まで登りにくくなった。	電池の残量が少ない。	新しい電池に交換してください。
針が動かない。	電池の⊕⊖が逆向きに入れてある。	正しい向きに入れ直してください。
	電池の残量が少ない、または電池切れ。	新しい電池に交換してください。
	電池または電池ホルダー内の電池端子が汚れている。	電池、または電池端子の表面を拭いてください。また電池を入れて、2～3回まわしてください。

3、ご使用期間が、まだ電池交換の必要が無い期間の場合は、以下をご確認ください。

症状	原因	処置
時計が数秒程度の違いで動いている。		そのままでも電波受信後に自動修正されます。手動で時刻を合わせた際に、日中に秒針が停止した場合は午前と午後が違いますので12時間時刻を進めてください。
秒針のみ停止している。	夜間秒針停止中（22時～6時）、または秒針補正中	
時計が数分程度の違いで動いている。	電波受信に失敗している可能性が考えられます。	時計の近くにエアコン、テレビ、パソコンなど標準電波に影響を与えるノイズが発生するものがないかを調べてください。窓際などの電波受信環境の良さそうな場所に時計を移動させて、再受信、またはリセット操作をした後、電波受信をお待ちください。
時計が全く異なる時間で動いている。	時刻電波以外に反応して、誤作動（誤受信）を生じた可能性が考えられます。	
待機時刻の12時で時計が止まっている。		
待機時刻の12時以外の時刻で時計が止まっている。（及び上記をお試し頂いても症状が改善されなかった場合）		恐れ入りますが販売店までご連絡ください。

電波受信機能をOFF（無効）にしている場合、時間精度は平均月差±30秒以内（常温での使用時）になるため、以下の状況が考えられます。

症状	原因	処置
時間が遅れる、または進む。	時間精度は温度の影響を受けて、遅れ進みが生じます。	誤差が累積されたときは、電波時計機能をOFF（無効）を再度、設定し、時分針を合わせてください。